

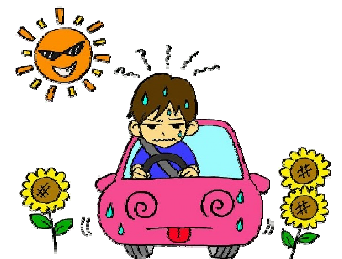
◎ 交通事故発生状況（令和 8 年 7 月末日現在概数）

区 分		高速道路の交通事故発生状況			県内の交通事故発生状況		
		令和8年	前年比増減数	前年比増減率（％）	令和8年	前年比増減数	前年比増減率（％）
人 身 事 故	発生件数	20	－11	－35.5	1,364	2	0.1
	死 者 数	1	－2	－66.7	23	－5	－17.9
	負傷者数	23	－29	－55.8	1,532	－22	－1.4
物件事故		1,312	63	5.0	32,415	447	1.4

※数値は速報値である。

◎ 夏の暑い時期に多い交通事故！

夏は、行楽シーズンで交通量が増える一方、暑さや疲労から交通事故が起こりやすくなります。特に、渋滞や長距離運転による疲労、集中力の低下が交通事故の原因となるケースが多く見られますので、十分注意しましょう。



※ 夏特有の交通事故を防ぐための具体的な対策

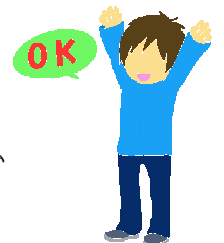
- 車内の温度管理を徹底する サンシェードの活用、車内にこもった熱気を外に排出しての運行など
- こまめな水分補給を徹底する 「喉が渴いた」と感じる前に、30分～1時間に1回程度は水分を補給
- 疲れを感じる前に計画的な休憩を取る

タイミング（1～2時間に1回）、場所（高速SA・PA、一般道の道の駅）

過ごし方（車から降りてのストレッチ、15分程度の短い仮眠）

- サングラス等を使用する まぶしさを軽減し、目の疲労を大幅に減らしてくれるアイテム
- 悪天候時は運転しない 不要不急の外出は避け、計画を変更する勇気を持つ

万が一の場合は、パニックにならず冷静に対処する



以上、夏の運転は、ドライバー自身の体調管理、車のコンディション維持、刻々と変わる交通状況や天候への対処が必要となります。業務中、プライベートに関わらず、最大限の注意を払って交通事故を防ぎましょう。

◎ 危険運転致死傷罪を適用する要件の明確化及び罰則強化の改正法が施行

飲酒運転や高速度での走行に危険運転致死傷罪を適用する数値基準を盛り込んだ改正自動車運転死傷処罰法が7月21日に施行されました。主な改正のポイントは、



- 飲酒運転の基準を数値で明確化
 - ・ 呼気：0.5 mg/ℓ以上（血液：1.0 mg/ml以上）のアルコールを保有する状態
- 高速度運転の対処困難性を捉える「明確なライン」を設定
 - ・ 最高速度 60 km/h 以下の道路...規制速度を 50 km/h 超える高速度
 - ・ 最高速度 60 km/h を超える道路...規制速度を 60 km/h 超える高速度

※ 数値基準を満たさなくとも危険運転致死傷罪の対象となる場合があります。

飲酒運転や薬物運転、高速度運転は悪質で危険な運転行為であり、それらの行為を行った者は刑事処分のほか、運転免許の取消し（行政処分）も科され、厳しく処罰されます！

協議会に対する連絡、ご意見を受け付けています。 新潟県高速道路交通安全協議会（事務局 担当 比企・村山）

電話番号 025-287-4433

e-mail: niigatakousoku-ankyo@chive.ocn.ne.jp

FAX番号 025-286-3460

URL: <http://niigata-kousoku-ankyo.com>